

南会津管内舗装工事の応札に関する調査結果について

平成28年8月26日
入札監理課

第59回福島県入札制度等監視委員会において、南会津管内の舗装工事は1者応札や落札率が高い傾向が見られるとの指摘があったことから、南会津管内及び隣接3管内建設業者を対象に舗装工事の応札に関する聴き取り調査を行った。

1 調査実施業者数

調査実施業者数(管内別)

管内	調査対象	業者数
南会津建設管内	舗装工事A, Bランクの建設業者(支店含む)	18
隣接3管内	舗装工事Aランクの建設業者の一部	23
県中建設(須賀川土木)	国道4号線より西にある業者	(3)
県南建設建設	〃	(5)
会津若松建設	磐越自動車道より南にある業者	(15)
計		41

※南会津管内隣接3管内の区域及び舗装工事有資格者数は参考資料参照

※隣接3管内のうち県中(石川土木)は調査対象外とした。

※入札監理課、建設産業室各2名2班体制で調査を実施。

2 調査結果の概要

下記の項目について業者から聴き取り調査した。

- ①舗装工事機械保有状況
- ②県発注舗装工事の応札状況
- ③他管内から(に)応札しない理由
- ④総合評価方式への応札状況
- ⑤電子入札への意見
- ⑥その他

南会津管内舗装工事の応札に対する業者の主な意見は次の通り。

○南会津管内業者の意見

- ・豪雨災害復旧工事など一般土木工事の工事をメインに受注している。
- ・一般土木工事に技術者や作業員を回している。
- ・一般土木工事と人員配置(技術者、作業員)の調整ができれば応札する。
- ・採算がとれる発注ロット(規模)が大きい舗装工であれば受注を検討する。
- ・舗装用機械を持っていない(または処分した)ため、リースにより機械を確保している。
- ・西部地区*まで距離がある。(下郷町、南会津町(旧田島町)の業者)
- ・西部地区はAS合材の単価が高い。
- ・東部地区*まで距離がある。(只見町の業者)
- ・地元には工事があるので東部地区の工事は考えていない。(只見町の業者)
- ・南会津は山地が多く、山間の河川・幹線道路沿いの狭い平場に集落がある。建設業者も幹線道路沿いに点在しており、自社周辺が工事を受注する範囲となっている。
- ・建設業は地元の協力により仕事ができる。地域密着型の企業であり、地元のためとの使命感をもって地元の工事を優先して受注している。
- ・県が発注見通しを公表しているので、計画的に応札している。

【参考】

東部地区:下郷町、南会津町(旧田島町)の区域

西部地区:只見町、檜枝岐村、南会津町(旧南郷村、旧伊南村、旧舘岩村)の区域

○隣接3管内業者の意見

- ・地元の工事を中心に受注している、南会津管内工事に応札することは考えたことはない。
- ・距離が遠いため、採算がとれない。
- ・地域に馴染んでいないため、借地や土捨て場の確保など地元調整に苦勞する。
- ・南会津管内は資材単価が高い。
- ・冬期間(豪雪)などの課題がある。
- ・過去に落札した工事があるが、赤字になったことから今は応札していない。
- ・県が発注見通しを公表しているので、計画的に応札している。

3 南会津管内工事の応札における傾向

(1) 南会津管内業者の応札における傾向

① 東部地区(下郷町、旧田島町)は、多くの建設業者が市街地に事業所を有し、現場までの移動距離などの条件に差がないことから、応札者が複数ある工事が出ている。また、南会津地域の玄関に相当し、比較的アクセスもよいことから他管内からの応札もある。

特に、県中、県南、会津管内に隣接する下郷町内の工事は、他管内業者の応札も想定されるため90%前後の応札率となっている。

② 西部地区の旧南郷村、旧伊南村、旧舘岩村は、伊南川流域の河川沿いに建設業者が点在している。地形的要因で線的位置関係にあることから、建設業者は自社周辺の工事を優先し応札する傾向がある。さらに県の発注見通しと周辺の業者の状況を考慮しつつ計画的な応札が可能となっている。

また、平成27年度の関東・東北豪雨により災害が発生したことから、地元建設業者の責務として災害復旧工事を受注しているとの声もあった。

③ 南会津町に次いで広い面積を有する只見町は、比較的狭い地域に事業所が点在するなど伊南川流域とは異なる特性がある。また、町内建設業者の舗装用機械所有状況は、自社で所有しているのは1者のみで、舗装用機械を所有していない業者は積極的に応札することはない。東部地区から50km程度あるなど西端に位置し、町外からの応札もまれである。南会津町に近い工事などは、隣接する旧南郷村の建設業者が応札する場合もある。

④ 舗装用機械を所有していない建設業者が多く、リースで機械を確保するのがほとんどで、所有機械の稼働率を上げることに迫られていないことが、他管内と比較して競合しない要因の一つとなっている。

⑤ 各者とも県の発注見通しをチェックし、計画的に応札している。また、入札公告は必ず確認しており、周知不足や見積もりなどの入札準備不足で応札しないことはなかった。

(2) その他

- ① 隣接3管内については、南会津町までの距離が須賀川市役所からが81km、白河市役所からが50km、会津若松市役所からが43kmで、工事現場までとなると県外へ行くのと同程度の距離でコスト的にも採算が厳しくなることや、特別豪雪地帯で冬期間が長いことなどから、下郷町内での工事までが応札検討の対象となっている。

- ② 南会津管内は、AS合材や骨材などの舗装用資材の単価が全般的に割高で、西部地区は特に高い。100%に近い落札率で受注しても採算がギリギリとなることから、割高な単価が高い落札率や隣接3管内からの応札がない要因の一つとなっている。

[添付資料]

- ・資料3-1 平成27年度 南会津管内 入札結果(舗装工事)
- ・資料3-2 南会津管内舗装工事に関する聴き取り調査位置図
- ・参考資料(資料3関連) 南会津隣接3管内の区域